

「東京都教育ビジョン(第3次)(仮称)(案)」に対する意見募集の結果

備考:◎既に記載あり ○意見を基に追加記載 ●参考意見 ページ数は「東京都教育ビジョン(第3次)」における該当部分

取組の方向等		意見者	主な意見の要旨	都教育委員会の考え方	備考
第一章	基本的な考え方	団体	今後、外国人児童・生徒の増加が予想されることを踏まえて社会の変化を捉える必要がある。	2 社会の変化と教育が果たす役割 主要施策17 子供たち一人一人に応じた手厚い支援体制の構築 ・これからの社会の変化をグローバル化の進展から捉えて、基本理念やその実現のための五つの視点を設定している。また、様々な国や地域の人々と共に未来を切り拓いていこうとする態度・能力の育成を重視した施策や、外国人児童・生徒に対する教育の充実を図る施策を推進していく。(3ページ・16ページ・34ページ)	◎
		学校関係者	子供たちの成長や発達のスピードは様々であり、スピードが早い子供も、ゆっくりの子供も、どちらも大切に育てていくことを大切にしていこうとしていることには共感できる。	3(2) 基本理念を実現するための五つの視点 ① 一人一人の個性や能力に着目し、最大限に伸ばす。 ・子供一人一人に目を向け、個々が持つ多様な個性や能力を十分に把握した上で、個々に応じた指導を、心身の発達段階を踏まえて系統的・組織的に行う。(7ページ)	◎
第二章	1 学びの基礎を徹底する	学校関係者	学力調査の結果を速やかに本人や保護者にフィードバックして、正確な学習状況を伝え、保護者も巻き込んだ学力向上の取組が前進していくことを期待している。	主要施策1 基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上 ・学力調査では、各学校の教員が採点を行い、結果を児童・生徒に迅速に返却することとしている。また、調査結果を示した個人票の充実を図り、児童・生徒及び保護者が課題を正確に把握できるようにするとともに、次の学習に向けた目標を持たせる取組を推進していく。(13ページ)	◎
	2 個々の能力を最大限に伸ばす	学校関係者	高校在学中の留学などは、これからの人材を育てる上でよい取組であり、「国際社会で活躍する日本人の育成」の一層の推進を期待している。	主要施策3 国際社会で活躍する日本人の育成 ・広い視野や海外で通用する高い英語力、リーダーとしての自覚やチャレンジ精神等を育成するとともに、留学を阻害している要因を解消し、高校在学中に高校生を留学させる「次世代リーダー育成道場」の取組を、今後も継続して実施し、拡充を図る。(16ページ)	◎
	3 豊かな人間性を培い、規範意識を高める	個人	社会が変化している中、小・中学校に引き続き、高校でも道徳を学ぶことが大切である。	主要施策5 道徳心や社会性を身に付ける教育の推進 ・都独自の道徳教材の活用等により、都立高校を含む全公立学校において、発達段階に応じた道徳教育を推進する。都立高校においては、都独自の教科「奉仕」の成果を踏まえ、全ての都立高校生が道徳を学ぶこととし、道徳教育の充実を図る。(18ページ)	◎
		学校関係者	「国際バカロレア認定校」を目指す取組について、設置する学校数、学校名、クラス数、プログラム等のアウトラインを示しても良いのではないか。	主要施策3 国際社会で活躍する日本人の育成 ・「国際バカロレア認定校」を目指す取組については、平成25年度に、将来的な認定の取得に向けた検討委員会を設置し、国際バカロレアのカリキュラム等に関する調査研究を進めるなど、認定に向けた取組を進めていく。(16ページ)	●
	4 社会の変化に対応できる力を高める	保護者	自立して生きるために、「社会的・職業的自立を図る教育の推進」は重要であり、子供たちに生き方を考えさせる教育が必要である。	主要施策7 社会的・職業的自立を図る教育の推進 ・子供たちの社会的・職業的に自立を図るため、系統的なキャリア教育を推進する。そのため、教師用手引書の作成や外部人材の活用等を推進する。また、企業やNPOとの連携により、都立高校における教育プログラムを開発し実施することなどにより、社会人・職業人として生きていくために必要な力を育ていく。(21・22ページ)	◎
	5 体を鍛える	個人	「オリンピック・パラリンピアン」の学校派遣など、子供たちに夢を与える取組を継続してほしい。	主要施策8 体力向上を図る取組の推進 ・オリンピック・パラリンピアンなどのアスリートと児童・生徒との直接的な交流や触れ合いを通して、運動やスポーツにより一層親しみ、スポーツへの興味・関心を高め、健康の増進や体力の向上に資することを目的に実施してきた本事業を今後も継続し、拡充を図る。(24ページ)	◎
		保護者	子供の外遊びを一定時間、一律に強制するのではなく、個々の希望や状況に応じて柔軟な運用が可能になるように配慮してほしい。	主要施策8 体力向上を図る取組の推進 ・「総合的な子供の基礎体力向上方策(第2次推進計画)」の着実な推進により、遊びや運動そのものの楽しさ、やりがいなどを感じながら夢中になって活動できるようにすることにより、子供の生活を活動的なスタイルに変えていくことを目指していく。 ○「総合的な子供の基礎体力向上方策(第2次推進計画)」の内容を踏まえ、「施策の必要性」に、身体活動量を増加させることの必要性を追記した。(24ページ)	○
6 健康・安全に生活する力を培う	個人	都立高校の生徒と自治会や町会が共に行う防災訓練が、一層広がることを望む。	主要施策11 安全教育の推進 ・全都立高校で実施する一泊二日の防災訓練を、今後も継続するとともに、地域の自治会・町会などと連携して、避難所の運営を経験させるなど、実践的な訓練を実施し、子供たちに「自助」「共助」の精神と実践力を高めていく。 ○都立高校における重点的な取組である「一泊二日の宿泊防災訓練」及び「地域との連携」を追記し、施策の内容を明確にした。(27ページ)	○	
7 教員の資質・能力を高める	団体	新規採用者に自信を持って指導にあたるには、東京都の事情に精通した退職校長等が適任と考える。	主要施策12 優秀な教員志望者の養成と確保 主要施策13 現職教員の資質・能力の向上 ・平成22年度から、社会経験のない新入教員を育成するため、意欲と能力のある退職者との二人担任体制による「学級経営研修」を実施している。今後、区市町村教育委員会と連携を密にし、計画的な増員に取り組み、退職教員の指導力を活用していく。(29・30ページ)	◎	
	個人	児童・生徒の教育を担う教員の資質・能力の向上は重要であり、具体的な取組を進め、質の高い教員の育成を実現してほしい。	主要施策13 現職教員の資質・能力の向上 ・初任者の段階からの意図的・計画的な人材育成により、教員一人一人が経験や職層に応じた自らの役割と責任を自覚し、確実に職責を果たす力を身に付けることが重要である。そのため、本ビジョンに記載した施策を着実に実施し、教員の資質・能力を向上させていく。(29・30ページ)	◎	